

和歌山県連号外版

令和5年10月初旬

連絡先:国民民主党和歌山県総支部連合会

〒640-8214 和歌山市寄合町23 アセンブルビル5F TEL: 073-427-2255 / FAX: 073-427-2277

HP: https://dp-wakayama.jp





発行: 国民民主党 国民民主PRESS 編集部 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRiD 4F / TEL: 03-3593-6229 / HP: new-kokumin.jp / 通常号 定価1部200円(税込み)・年間購読料 1,000円(送料含む)隔月第4金曜日(偶数月)発行



国民民主党の重点政策3本柱

1. 給料が上がる経済を実現



日本の実質賃金は30年に渡って下がり続けています。アメリカ、ドイツ、韓国などの多くの国では実質賃金が上がっています。

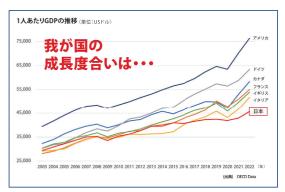
日本は世界の経済成長から取り 残され、相対的に見てどんどん貧し くなっているのです。



日本は食料やエネルギーの大部分を 外国からの輸入に依存しています。左 図のように諸外国に比べて経済成長が 遅れていると、輸入物価の負担が重くな り、暮らしへの大きな打撃となります。

国民民主党はこれまでの政府の政策 を転換し、消費や投資を活性化するとと もに、日本の国際競争力を向上させ、

「給料が上がる経済」 を取り戻します



2. 自分の国は自分で守る

自分の国は自分で守ります。新たな感染症、気候変動による自然災害や食料危機、厳しさを増す国際環境など、 様々な危機を「想定外」とすることなく、経済、エネルギー、食料、防衛等を含めたあらゆる安全保障政策に万全を期し、国民と国土を守り抜きます。 国民生活や産業に必要な物資が過度な外国依存とならないよう、総合的経済安全保障法の成立をめざします。

3. 人づくりこそ国づくり。

「教育国債」で教育・科学技術予算を年間10兆円規模に倍増。出産・子育で・教育にお金がかからない国にして、日本の国際競争力を回復させます。

教育・教材費や修学旅行費も含め、高校までの教育を完全無償化します。

児童手当や奨学金など子育で・教育支援策に関する所得制限を撤廃します。

このままで大丈夫?

教育・科学技術予算は20年以上も横ばい

国にとっての最大の資源は人です。しかし、日本ではその人を産み育てることに対する支援は到底十分とは言えません。 人が育ち、学び、技術やイノベーションを生み出していく。そこに対する予算は、20年以上横ばい。そのほかの予算は大きく膨れ上がっています。 高齢化社会になり社会保障費が増大するのは避けられませんが、今のままでは少子化を解決することはできません。



"人口減少先進地"県都·和歌山市に 「夢と希望のある政策」を!!

はじめに遅くなりましたが、今年4月に行われました統一地方選挙におきまして、われわれ**国民民主党**に対して、力強いご支援を賜り誠にありがとうございました。このご支援を議会や地域社会において、最大限活かせるよう、今後も不断の努力を積み重ねて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて最近では、枕詞のように「人口減少、人口減少」と言われるようになりましたが、実は私が20年前に県議会に初登壇(2003年)し、訴えた第一の大きなテーマが「人口激減!どうする和歌山」でした。ただその時は、県当局も県議会もほとんど関心を示しませんでした。しかし、これから「大きな人口減少時代がやってくる。一体どうしますか?」という趣旨で、敢えて警鐘を鳴らす訴えでした。

当時の直近の国勢調査(2000年)では、県全体で約107万人以上あった人口が、20年後には92万人になると推計も述べましたが、皆他人事のようでした。しかし、現実はそれ以上に減少するスピードが速く、現在では約89万人となり、年間1万人近くの人が減少しております。

またこれも4年前の県議会(2019年)で述べましたが、全国で47ある都道府県庁所在

地の中で、1985年から2015年までの30年間で、和歌山市が2番目に大きい人口減少率であるということ。ちなみに1番目が長崎市、3番目は青森市ですが、長崎市は造船業、和歌山市は鉄鋼業等の産業の縮小が影響していることは、火を見るより明らかであります。(青森市は本州最北端で豪雪地帯であることが、大きな原因と思われます。)

しかしその長崎市が今、「長崎スタジアムシティプロジェクト」でプロサッカーチーム(V・ファーレ長崎)を中心に2万人集客のスタジアム建設だけではなく、そこを中心にホテル、ショッピングセンターオフィス、レストラン等で、地域を盛り上げ大きく再生しようとしております。

和歌山県は、それに匹敵するものとして、**和歌山市に多額の民間資金を投入する「和歌山IR」**を計画しておりましたが、昨年の5月の県議会で残念ながら否決されてしまいました。では一体どうするのか?

この"人口減少先進地"県都・和歌山市に「夢と希望のある政策」を!! 一 岸本知事に、心より強く望む次第であります。



国民民主党和歌山県連代表

まらぐち こうでん 高典

1955(昭和30)年生まれ、和歌山市今福在住 早稲田大学教育学部教育学科 卒業

[党 役 職] 和歌山県連代表 [**所属委員会**] 経済警察委員会

人権·少子高齢化問題等対策特別委員会

[地域活動] ニッケンスクール高典塾(日本拳法師範・八段)

「馳せ参ずる」初心に返りいざ発進!!

朝夕の風に秋の涼しさを感じるこのごろ、いかがお過ごしでしょうか。 県民の皆様には、常日頃の国民民主党和歌山県連の活動にご理解 とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私、永野裕久は4月23日に投開票された和歌山市議会議員一般選挙(定数38)にて、4,784票もの負託を頂戴し5期目の当選を果たすことができました。

それは4年前に執行された前回よりも926票増、また、順位も5位から4位という結果であります。これもひとえに、市民の皆様より私たち国民民主党和歌山県連並びに、永野裕久への期待が数字に表れ

たものと存じます。

身に余る大きなご期待にお応えできるよう、「机上よりも迅速な行動」で「誰ひとり取り残されることのない和歌山市」を基本理念に、粉骨砕身の努力を傾注することをお約束させていただきます。

今期私は経済文教委員会に所属する こととなったのですが、同委員会は主に 教育行政や観光行政に関する議案等を 審議する委員会であり、どれをとっても喫 緊の課題を議論する重要な委員会であ

ります。未来を担う子どもたちが育つ教育のまち和歌山市、人が溢れる観光のまち和歌山市、特に観光は和歌山市の経済に直結します。

本市の観光はコロナ禍による需要喪失からの回復により大きな 転換期にあると言えるだけに、任された議席は重責です。

同委員長を務めた経験を活かして、委員会に付託される予算案や 条例案のチェックは勿論のこと、「批判よりも建設的な議論と提言」 を軸にした、中身のある政策提言に努めて参ります。有言実行力。 5期目もよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、9月2日に投開票された国民民主党代表選挙の結果、玉木雄一郎代表が再任されました。これからも政策本意で『対決より解決』『つくろう、新しい答え。』を掲げ党本部と連携し、県連一同邁進する所存でございます。



国民民主党和歌山県連幹事長

水野裕久

1973 (昭和48) 年生まれ、和歌山市出身和歌山県立和歌山東高等学校 卒業 「党 役 職] 和歌山県連幹事長

[**所属委員会**] 経済文教委員会、広報委員会